

# 令和6年度（2024年度）6月補正予算編成方針

令和6年度（2024年度）の当初予算は、骨格予算として編成したことから、本補正は市長の公約を実現するための新たな取組を対象とし、第一回市議会定例会での審議内容を踏まえた予算とする。

## 1 施策展開

令和5年度からスタートした「八王子未来デザイン2040」の取組を着実に進め、多摩、その先にある東京、さらには日本のリーディングシティを目指していく。施策の展開にあたっては、「未来への投資」と「財政の健全性」とのバランスを取りながら、市民が安心できる生活を送り、やすらぎ、あらゆる場面で個性を發揮できる「すべての人が輝き、やすらげる街」の実現に向けた取組を進めていく。

## 2 予算編成の考え方

本補正では、市長公約に掲げた政策について、具体化が可能な取組の中から優先順位を判断して予算化する。また、国や東京都の制度改正への対応など、当初予算調製後に生じた事由に速やかに対応する。

なお、新たな政策的取組の予算化にあたっては、経営計画の見直しにあわせて財源を確保する。また、計画に計上済みの事業であっても見直しを行い、限られた財源をより一層効果・効率的に活用する。

以上の点を踏まえ、次に定める考え方に基づき予算編成を行う。

- (1) 市長公約に掲げた政策を実現するための事業について予算化する。
- (2) 当初予算調製後に生じた国・都の制度改正や義務負担等について対応する。

以上を踏まえ、次に定める基本方針に従い、予算見積書を提出すること。

## 基 本 方 針

- 1 市長が公約に掲げた政策は、スピード感を持って事業化すること。
- 2 新たな政策的取組の予算化にあたっては、市議会の審議により出された意見等を反映させるとともに、重点事業との整合を図るほか、事業着手から完了までのスケジュールや概算額、完了後の効果までを見通した事業全体の制度設計を行うこと。
- 3 関連する事業を実施している場合は、その内容を必ず見直し再構築を図るなど、予算の組み替えも視野に入れ、最小の経費で最大の効果を発揮できるよう、創意工夫を凝らして事業を構築すること。
- 4 財源確保にあたっては、国や東京都等の補助制度や他市で実施している類似事業の財源について最新情報を収集するとともに、新たな歳入の創出に努めること。